

平成28年 議会傍聴者数 (人)

	定例会				臨時会	閉会中	年間合計	対前年増減数
	第1回	第2回	第3回	第4回	第1回			
本会議	59	38	43	25	-	-	165	18
常任委員会	総務	1	1	1	0	-	3	0
	文教福祉	1	5	1	6	-	13	3
	建設経済	1	0	1	3	-	5	1
議会運営委員会	0	0	0	0	-	0	0	-3
特別委員会(※)	3	-	-	-	-	0	3	-2
合計	65	44	46	34	-	0	189	17

(※) 予算・決算の各特別委員会

可決した意見書

カジノ解禁推進法の撤回と、 カジノ推進の中止を求める意見書

カジノを中心にホテル、商業施設、展示場などの大型施設を併設する統合型リゾート（IR施設）を積極的に推進するためのカジノ解禁推進法（特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律）の採決が強行され、国会を通過した。

政府は、「日本再興戦略」でIRを観光振興策としている。しかし、そもそもカジノは賭博であり、賭博は歴史的に多くの重大犯罪を誘発し、多くの人々の不幸を招いてきたことで、刑法で厳しく禁止された犯罪である。カジノ解禁推進法は、公的主体に限定的に認められてきた賭博を、歴史上初めて民間にも解禁する道を開こうとするものである。

またカジノの合法化については、反社会的勢力の介入、マネーロンダリングの横行、多重債務問題の発生、青少年への悪影響、すでに536万人も存在する日本のギャンブル依存症患者の増大など、様々な問題が懸念される。

世論調査でも「カジノ解禁に反対」が約6割になるなど、大多数の国民も反対している中で、このような法律を短時間の審議で強行採決したことは許されない。

については、国におかれては、カジノ解禁推進法を撤回するよう強く求める。そして政府は、同法にもとづくカジノ解禁のためのすべての措置を行わないことを求める。

※本会議に提案された意見書の全文は
ホームページに掲載しています

傍聴席から

本会議（一般質問）を傍聴して
議員の質問に対する市側の答弁が的確でない印象を持った。
(75歳・男性)

常任委員会を傍聴して
傍聴に来ると、市の色々なことがよくわかる。もっとたくさんの方が傍聴に来られるようアピールを頑張りたい。
(39歳・女性)

本会議（採決等・閉会）を傍聴して
初めて傍聴したが、傍聴者が少ないと思った。できれば、こども議会を開催して、こども議員の意見も聞けるようにしてほしい。
(11歳&10歳・男子)

※児童及び乳幼児は、議長の許可を得て傍聴しています。

議会を傍聴するには

2階 市役所正面玄関を入れて

2階 斜め右のエレベーターで5階へ

5階 議会事務局窓口で傍聴手続を

6階 奥へ進み扉を開けると

傍聴席

身障者入口 通路 身障者傍聴席

申込用紙に氏名・住所を記入します。傍聴席は6階、委員会室はすぐ横です。車椅子で傍聴される方は、5階にも傍聴席がありますのでご案内します。お帰りの際はアンケートにご協力を

建設経済常任委員会管外視察報告

建設経済常任委員会は、11月7日に、埼玉県飯能市で「バス交通」について、翌8日には埼玉県川越市で「川越市農業振興計画」について管外視察研修を実施しました。

飯能市では「バス交通」について、飯能市地域公共交通基本計画を策定し、市・交通事業者・地域（市民）が一体となって取組まれたさまざまな事例を研修しました。

川越市では「川越市農業振興計画」について具体的な施策の展開や、農産物をブランド化する取り組みについて研修しました。



議会運営委員会管外視察報告

議会運営委員会は、11月16日に、神奈川県小田原市で「議会報告会及び所管事務調査」について、翌17日には埼玉県戸田市で「年間テーマに基づく所管事務調査」について管外視察研修を実施しました。

小田原市では、年1回、2カ所で議会報告会を開催されており、駅前地下街のオープンスペースで開催するなど、市民の参加しやすい取り組みをされていました。

戸田市では、各常任委員会が調査内容を絞ったテーマを設定し、条例の制定や提言書の作成など、多数の成果をあげられていました。

